

外郭団体ミッション遂行評価票

【令和4年度取組結果】

団体名	公益財団法人 北九州産業学術推進機構
-----	--------------------

所管課	産業経済局 次世代産業推進課
-----	----------------

団体に対するミッション
<p>①北九州学術研究都市の研究開発拠点化を推進する。 ②産学連携による技術力の強化と新事業創出を推進する。 ③企業活動の生産性向上を推進する。 ④ICT産業の振興と地域ICT関連企業等の集積を促進する。 ⑤中小企業の経営支援と創業を促進する。</p>

行財政改革大綱における見直し内容
<p>これまでの取組みや成果について、評価・検証の上、今後とも本市の産業振興の原動力として同団体に求める役割を整理する。さらに、この役割を達成するために取り組むべき事業や組織体制について、必要に応じ有識者等の意見も踏まえながら、精査・検討する。 また、この検討の中で、九州ヒューマンメディア創造センターとの統合についても検討していく。</p>

ミッションに基づく中期計画									
3~5年後に目指す状態	九州ヒューマンメディア創造センターとの統合により、それぞれの強みを融合させ、企業のロボットやIoTの活用等による革新的生産性向上に向けた支援等を行うことにより、自らものづくりの変革や価値の創造に取り組むような中小企業を増やしていく。								
主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）								
	H30 実績	R1 実績	R2 実績	R3 実績	R4 目標 実績		R5 目標	R6 目標	
産学連携施設の入居率	73%	74%	69%	73%	75%	70%	75%		
事業化金額	49.1 億円	110.9 億円	190.7 億円	219.2億円	200.0 億円	185.1 億円	200.0 億円		
革新的生産性向上企業数（累計）	12件	13件	16件	19件	24件	18件	24件		
新ビジネス（情報産業）創出数	4件	4件	1件	1件	2件	1件	2件		
窓口相談等の課題解決件数（知財含む）	536件	434件	480件	1,419件	480件	797件	480件		

ミッションの遂行状況の評価（令和4年度）			
団体における評価	<p>前年度に引き続き、自立できる産業づくりに向けて情報発信や研究開発・事業化支援、中小企業支援等を実施した。特に市が新たに設置した「ロボット・DX推進センター」を運営し、ロボットやIoT、デジタル化等の導入を一元的に支援できる体制を整え、中小企業の実績向上を促進した。また、コロナ禍に伴う中小企業の窓口・巡回相談を強化するほか、国の補助金等の申請支援に注力した。その結果、わずかに及ばない指標もあるものの概ね目標を達成した。</p>	市の評価	<p>主な成果指標の窓口相談等の課題解決件数は目標を上回っているが、その他の目標についてもほぼ目標値に近い実績が上がっている。概ね目標は達成したと思われる。</p>
今後の課題及び見直し内容（案）	<ul style="list-style-type: none"> 次世代自動車や半導体、DXなど成長が見込まれる分野にかかる研究開発支援や人材育成等を強化。 地域企業の実績向上や経営改善の支援、スタートアップによる新ビジネス創出を推進。 取組や成果を積極的に情報発信。 <p>これらの取組を通じて、関連企業の集積や次世代産業の拠点化を目指す。</p>	団体への改善指導内容（案）	<p>未達成の成果指標があるため、中期計画目標に基づき各指標を達成できるよう指導する。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況	
見直しの分類	<p>統合を検討する団体 特に事業内容を精査する団体</p>
<p>平成30年4月1日付で北九州産業学術推進機構（FAIS）は九州ヒューマンメディア創造センター（HMC）と統合した。令和4年度に設置した「北九州市ロボット・DX推進センター」では、ロボット等ものづくり分野を中心としたFAISと情報通信分野のHMCそれぞれが持つ知見を一元化して幅広い業種の多様な経営課題解決に向けてワンストップで支援しており、統合による相乗効果が生まれている。</p>	

ミッションに基づく具体的取組み（令和4年度）																						
目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）																	
<p>【学研都市の研究開発拠点化の推進】 学研都市の研究機関等の連携を促進し、研究機関等が行う教育・研究等の活動に効果的な環境づくりを進めるとともに、地域産業の高度化に資する人材の育成を支援することで、研究機関等や人材の集積を図る。 また、地域に開かれた学研都市として図書館や体育館などの共同利用施設の市民利用を促進する。</p>					<p><PR活動の実施> 学研都市の知名度向上と市民利用の促進のため、ホームページでの積極的な情報発信や各種PR活動を実施する。 <産業人材の育成> 新成長戦略に掲げる重点分野において、地域企業の技術力向上に向けた人材育成講座を開催。また、講座受講生と企業技術者とのオフサイトミーティングを実施し、育成人材と企業のマッチングを実施する。</p>																	
											成果指標		R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標		R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績
											①	産学連携施設の入居率	69%	73%	75%	70%	①	ホームページ外部アクセス数 (FAIS及び学術研究都市)	64,352件	73,824件	74,000件	81,081件
											②	進出機関数	61機関	59機関	65機関	59機関	②	プレスリリース件数	7件	8件	35件	15件
③	人材育成事業の受講者数	360人	1,206人	480人	1462人	③	人材育成講座実施回数	9回	14回	19回	49回											
目的（目指す状態）					活動計画（どうやって目的を達成するか）																	
<p>【産学連携による技術力の強化と新事業の創出】 研究会の企画・運営、地域企業や大学の研究開発等に対する助成、国や民間等の外部資金を活用した研究開発の支援、大学の研究成果の特許化と企業へ技術移転を行い、研究開発成果の事業化を支援する。 こうした取組を通じて、地域企業の技術力の強化や新事業の創出、成長分野への参入を促すとともに、新たに研究開発に取り組む企業の増加を目指す。また、学研都市を中心に、市外からの企業進出や設備投資を促す。</p>					<p><情報収集・発信> 学研都市を中心とした研究シーズや地域企業のニーズ等を収集し、研究者情報（冊子・DB・メルマガ等）や産学の共同研究促進に向けた大学シーズ集を活用して発信する。 <産学交流事業の実施> 産学交流サロン（ひびきのサロン）などの開催を通じ、産学交流のきっかけづくりを行う。 <研究開発プロジェクトの創出> 研究会の企画運営、プロジェクトの創出支援、国等の外部資金の獲得など研究開発段階に応じたコーディネートを行う。 <研究開発助成> 研究開発助成による新産業の創出・育成などを着実に進めるため、事業化に結びつく優秀な研究・技術シーズをテーマとした研究開発の提案が増えるように、企業や大学などの関係者への訪問を細めに行い、制度の周知と利用促進を図る。</p>																	
											成果指標		R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標		R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績
											①	事業化件数	18件	12件	33件	8件	①	研究開発プロジェクト件数	64件	48件	100件	48件
											②	事業化金額	190.7億円	219.2億円	200.0億円	185.1億円	②	国プロ等外部資金獲得額	5.7億円	4.7億円	5.0億円	5.5億円
						③	産学交流サロン件数	4件	7件	10件	6件											

3	目的（目指す状態）				活動計画（どうやって目的を達成するか）							
	<p>【企業活動の生産性向上】</p> <p>ロボット、IoT、AI等の技術を活用した生産性向上に関する研究開発の推進、地域企業への導入支援を行うことで、企業活動の高効率化を図り、生産年齢人口減少傾向にある本市の産業の競争力維持を目指す。</p>				<p><生産性向上に関する講座の実施></p> <p>製造現場の経験が豊富な人材やIoTやロボットに知見を有する人材等が指導者としての汎用的なスキルを身に付けるための研修を実施する。</p> <p><ロボット、IoT、AI等導入支援></p> <p>地域企業のものづくり力強化と生産性の向上を図るため、企業への産業用ロボット、IoT、AI等の導入を支援する。</p>							
	成果指標		R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標		R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績
	①	革新的生産性向上企業数（累計）	16件	19件	24件	18件	①	企業訪問数	1,831件	2,583件	2,500件	3,352件
							②	生産性向上に係る講座受講者数（延べ数）	392人	231人	250人	173人
③							産業用ロボット導入支援企業数	10件	9件	10件	9件	
④							IoT等導入支援企業数	10件	13件	62件	14件	
目的（目指す状態）				活動計画（どうやって目的を達成するか）								
4	<p>【ICT産業の振興と関連企業等の集積促進】</p> <p>市内の情報産業の振興を図り、新ビジネスの創出や地域産業の高度化を目指す。</p>				<p><北九州市DX推進プラットフォーム登録企業の確保></p> <p>市内企業のデジタル化を促進していくため、北九州市DX推進プラットフォームの活動に賛同する登録企業の確保に努める。</p> <p><ビジネス相談の実施></p> <p>地域でビジネス展開を考えている団体等からのビジネス相談に応じ、協力者の調整や実証方法等、様々な支援を行う。</p>							
	成果指標		R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標		R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績
	①	新ビジネス（情報産業）創出数	1件	1件	2件	1件		e-PORTパートナー数	120団体	237団体	旧指標	
							①	北九州市DX推進プラットフォーム登録企業数	120団体	237団体	300団体	408団体
							②	相談件数	127件	78件	130件	137件
目的（目指す状態）				活動計画（どうやって目的を達成するか）								
5	<p>【中小企業の経営支援と創業の促進】</p> <p>地域の中小企業やベンチャー企業の経営課題の解決や円滑な事業展開を支援する。</p>				<p><窓口相談・専門家派遣></p> <p>中小企業やベンチャー企業の技術力・販売力などの向上のため、窓口相談と専門家派遣を実施する。また、北九州市中小企業支援施策活用ガイドブックや広報誌を発行し、中小企業の経営改善に向けた情報提供を行う。</p> <p><知的財産支援センターの運営></p> <p>知的財産支援センターを運営し、中小企業の特許取得や流通の促進と企業活動を支援する。</p>							
	成果指標		R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績	活動指標		R2年度実績	R3年度実績	R4年度目標	R4年度実績
	①	窓口相談等の課題解決件数（知財含む）	480件	1,419件	480件	797件	①	窓口・巡回相談等件数（知財含む）	1,864件	2,846件	2,000件	2,573件
	②	創業件数	22件	25件	30件	33件	②	創業相談件数	40件	67件	100件	53件